

陳 情 文 書 表

(建設局)

受 理 番 号	5 2 0	受 理 年 月 日	令和5年6月2日
件 名	植松公園整備計画の見直し等		
要 旨	<p>2023年4月21日に発表されたWMO（世界気象機関）の年次報告書は、2022年までの8年間の平均気温が過去最高を記録し、地球温暖化の加速を警告している。</p> <p>京都市は2010年、大切な緑を守り、増やし、緑あふれるまちを実現するため、京都市緑の基本計画を策定し、建設局にみどり政策推進室を組織した。</p> <p>元植柳小学校跡地開発事業に伴い、2020年1月に開催した第3回（最終回）植松公園再整備ワークショップにおいて同室が地元住民へ提示した、植松公園の再整備によるCO2削減並びにヒートアイランド現象の削減効果の説明図・内容は、明らかにGreenwashing（環境偽装）である。</p> <p>京都市緑の基本計画に沿った政策を先頭に立ち推進する立場の同室によるGreenwashing（環境偽装）は許されず、絶対に環境偽装を疑われる活動をするべきではない。</p> <p>については、同室は、植松公園再整備ワークショップ及び植松公園再整備説明会の出席者と地元住民に、その犯したGreenwashing（環境偽装）を示し、謝罪するとともに、それに基づき作成した植松公園整備計画を見直すことを願う。</p>		
陳 情 者			
回付委員会	まちづくり委員会		